

3月27日 ロボコン全国大会優勝! 竜南中学校の生徒が市長へ優勝を報告しました!!

東京都で開催された「全国中学生創造ものづくり教育フェア アイデアロボットコンテスト(応用部門)」で優勝、しかも、優れた技術に贈られる文部科学大臣賞も受賞した竜南中学校の平野琢也君、林田成央君、清水裕晶君の3人が大西市長へ優勝を報告しました。



大会には、全国から予選を勝ち抜いた24の強豪チームが出場しました。3人は技術・家庭科の授業で学んだ知識と技能を活かし昨年の夏休みからロボットづくりに挑戦。特に短時間で多くのボールを発射する仕組み作りに苦勞し、試行錯誤を繰り返したそうです。

大西市長から将来の夢を尋ねられた3人は「車のエンジニア」「設計士」「ゲームクリエイター」と語ってくれました。

(指導課 ☎096-328-2721)

3月31日 熊本市営バス事業が終了 88年間のご愛顧ありがとうございました

昭和2年(1927)に営業を開始し、延べ約13億人の皆さんにご利用いただいた市営バスの運行が、3月31日をもって終了しました。

最終日には東区月出の小峯営業所で事業終了式典を開催しました。地域の代表者や公共交通事業者などにご出席いただき、これまでの感謝をお伝えし、大西市長から熊本市バス株式会社の山内代表取締役社長に小峯営業所の看板を引き渡しました。



そして午後11時、交通センターを発車する最終バスは、多くの市民の皆さんにお見送りいただき、最後の運行を終えました。

これまで市営バスをご利用いただき、誠にありがとうございました。

(交通局総務課 ☎096-361-5211)

4月8~14日 全日本女子レスリング強化合宿が熊本市で開催されました

栄和人監督をはじめ、吉田沙保里選手や熊本出身の志土地希果選手を含む総勢26人の「全日本女子レスリングチーム」が、熊本市で強化合宿を行いました。



これは、本市が熊本県レスリング協会や熊本県と共に、JOCや競技団体に働きかけを行ってきた誘致活動が実り実現したもので、熊本では初の開催となりました。

熊本空港での出迎えや歓迎レセプションでは、「くまモン」や「ひごまる」が登場し、選手の皆さんを歓迎しました。また、練習会場の熊本県民総合運動公園では連日多くの市民の皆さんが声援を送りました。

この合宿の成果を活かし、世界大会での活躍を期待しています。

(スポーツ振興課 ☎096-328-2724)

平成26年度に犬の殺処分ゼロを達成しました

本市では平成14年から「犬猫の殺処分ゼロ」を目標に掲げ、収容犬猫の飼い主への返還・新しい飼い主への譲渡、引取りを求める無責任な飼い主への説得、しつけ方教室の開催、「迷子札をつけよう100%運動」など、さまざまな取り組みを行ってきました。

その結果、犬猫の殺処分数は大幅に減少し、平成26年度には犬の殺処分ゼロを達成しました。一方、猫の収容頭数は近年増加傾向にあり、平成26年度は14頭を殺処分(安楽殺)しています。

「殺処分ゼロ」はゴールではなく、「人と動物との共生社会の実現」への通過点にすぎません。わたしたち1人ひとりの意識で、人と動物との共生社会を実現していきましょう。



(動物愛護センター ☎096-380-2153)

“市民力74万馬力” ロアッツ熊本を応援しよう!! ホームゲーム(5月)

場所: うまかな・よかなスタジアム(県民総合運動公園陸上競技場)

開催日	試合開始	対戦相手
5月6日(振休)	午後4時	大分トリニータ
5月17日(日)	午後3時	FC岐阜
5月24日(日)	午後4時	セレッソ大阪

※5月17日のFC岐阜戦は水前寺競技場

ロアッツ熊本ホームゲームA席チケットを20組40人(抽選)にプレゼント!

6月までの試合で利用できます

申込み 5月11日まではがきに住所・氏名を書いて、〒860-8601スポーツ振興課(☎096-328-2373)「ロアッツ熊本チケットプレゼント係」へ。



ゴミステーション 改善の取り組みを紹介します

今回は田迎南校区第2町内自治会で取り組まれた事例を紹介します。

田迎南校区第2町内自治会

以前は、「指定日以外に出す」「分別していない」などルール違反のごみが多量に出されたり、通行車両からごみが投げ捨てられるなど、マナーの悪いごみステーションでした。

そこで、以下のことに取り組まれました

- ・ごみ出し日の周知やマナー向上の啓発のため自治会オリジナルの看板や標語の掲示
- ・ごみステーションの側面と上部に囲いを付け、ごみを投げ込まれにくい形状に改良
- ・ごみ出しカレンダーの配布を手渡しで行い、ごみの出し方やルールを説明
- ・「町内会だより」で、ごみ出しの現状や正しいマナー・ルールを紹介
- ・減量美化推進員を中心に、収集日のごみ出し指導や違反ごみの整理を実施

以上の取り組みの結果、現在ではルール違反のごみは少なくなったそうです。今後も自治会とクリーンセンターと協力しながら、取り組みを根気強く続けていきたいとお話されていました。



湧々くまもと 85



作: 桜田幸子

5月30日は「ごみゼロの日」です! 家庭ごみの減量・リサイクル推進にチャレンジしてみませんか。

ごみ減量のポイント

- ・燃やすごみに捨てがちな紙やプラスチック製容器包装を、しっかり分別する。
- ・「買いすぎない・作り過ぎない・食べ残さない」を実践する。
- ・生ごみを出す際には、ひとしぼりして水気をきるようにする。

詳しくは、ごみ減量推進課(☎096-328-2365)へ。